

AEON

第51期
中間報告書

2021年3月1日 ▶ 2021年8月31日



 株式会社ジーフット

証券コード：2686

■ 経営理念

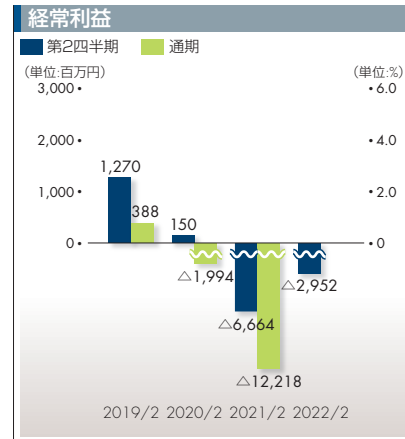
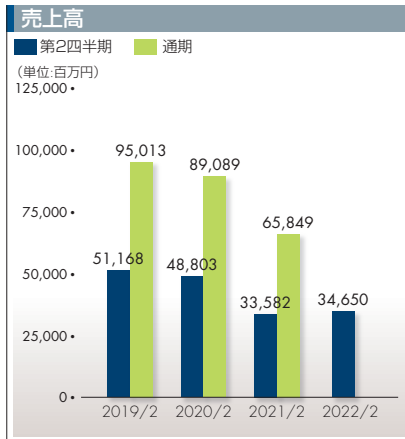
足元からのスタイル提案業

健康的で履きやすい魅力的な靴をリーズナブルに提供すること。

私たちジーフットは、その経営理念に「足元からのスタイル提案業」というスローガンを掲げながら、フットウェアのリーディングカンパニーとしてこれからの時代を先取りするグローバルな展開をスタッフ全員で目指していきます。

■ 財務ハイライト

	2019/2 (第2四半期)	2019/2 (期末)	2020/2 (第2四半期)	2020/2 (期末)	2021/2 (第2四半期)	2021/2 (期末)	2022/2 (第2四半期)
売上高 (単位:百万円)	51,168	95,013	48,803	89,089	33,582	65,849	34,650
営業利益 (単位:百万円)	1,261	351	137	△2,000	△6,663	△12,205	△2,906
経常利益 (単位:百万円)	1,270	388	150	△1,994	△6,664	△12,218	△2,952
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (単位:百万円)	162	△1,478	△319	△4,453	△6,861	△12,716	△3,127
1株当たり 四半期(当期)純利益 (単位:円)	3.81	△34.77	△7.52	△104.68	△161.29	△298.90	△73.51
1株当たり 純資産額(BPS) (単位:円)	593.25	542.00	522.71	415.85	246.01	102.93	29.99
総資産 (単位:百万円)	59,943	58,608	58,952	53,194	45,272	44,006	42,046
純資産 (単位:百万円)	25,254	23,074	22,253	17,707	10,482	4,393	1,290





代表取締役社長

木下尚久

当第2四半期連結累計期間（2021年3月1日～2021年8月31日）における我が国の経済は、依然として新型コロナウイルスの感染拡大により、企業活動や個人消費が制限され、経済活動は大きく減退いたしました。

緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発出の長期間化、広域化の影響で、当社にとって、お客さまの来店頻度の高い土・日・祝日や繁忙時間帯が臨時休業や営業時間短縮となり、販売機会が大幅に減少いたしました。月別では、上半期の重要な販売機会である、GW商戦にあたる4月下旬から6月下旬頃まで延長された3回目の緊急事態宣言や、夏休み、お盆商戦にあたる8月のデルタ株のまん延で過去最多感染者を記録した第5波の影響を受け、当初想定の上から大きく乖離いたしました。このように限られた販売機会をより拡充するために、当社の主力となるイオングループショッピングセンター立地を活用、催事場を確保の上、回数・期間の最大化を図ってまいりました。

こうした環境に対応すべく、当社グループは、お客さまに喜んでいただける接客、お客さまに満足していただける商品、お客さまのニーズの変化に応える売場を実現させるため「お客さまのかかりつけ」をテーマに、お客さまの足に関するお悩みを気軽に相談できる身近なショップを目指したグリーンボックスモ

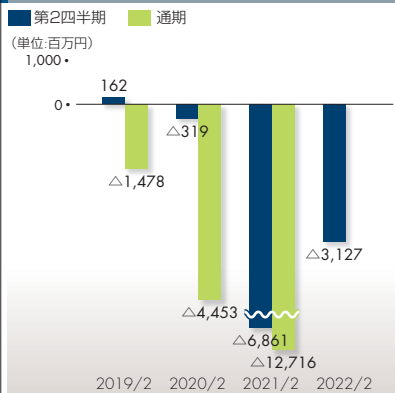
デルと、「お客さまと靴をつなぐ場所」をテーマに、ファッション、働き方、休日の過ごし方など、お客さまが毎日の生活をもっと楽しく、もっと快適に過ごせるような、私たちが今オススメしたい靴をご提案できるショップを目指したアスピーモデルの実証実験に取り組んでまいりました。モデル店舗では、①見やすく、選びやすい売場、②ジーフット独自の体験型提案接客（接客に関する社内認定資格フィッティングアドバイザーによる、足型計測器、はっ水加工機IMBOXを使った接客）、③自ら考え、判断し、行動できる店長の教育（店舗情報分析に基づいた月別・週別販売計画の立案、検証、修正）を骨子として取り組み、店舗の過剰在庫削減による見やすく、選びやすい売場の実現、足型計測器、IMBOXを使った接客による買上率、買上点数の向上等で成果を得ることができました。モデル店舗については、今回の取り組みで得た接客や売場作りのノウハウを正確に、スピーディーに展開させる手段の確立を今後の課題とし、引き続き取り組みを進めてまいります。

商品開発では、ジーフットのプライベートブランド商品「ATHREAM」において、製造委託先との情報共有に基づく一貫したMDプロセス（安定的な生産取り組みによる品質向上、生産コスト圧縮）をスタートいたしました。コスト面ではアナログ業務のデジタル化（自動化・見える化）による業務効率化を引き続き進めてまいりました。

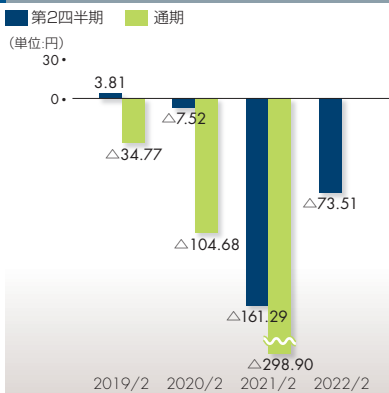
出退店につきましては、グリーンボックス白山店など5店舗を出店、一方で不採算店舗を中心に27店舗を退店し、これらにより当第2四半期末における当社グループの店舗数は828店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高346億50百万円（前年同期比3.2%増）、営業損失29億6百万円（前年同期は営業損失66億63百万円）、経常損失29億52百万円（前年同期は経常損失66億64百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失31億27百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失68億61百万円）となりました。

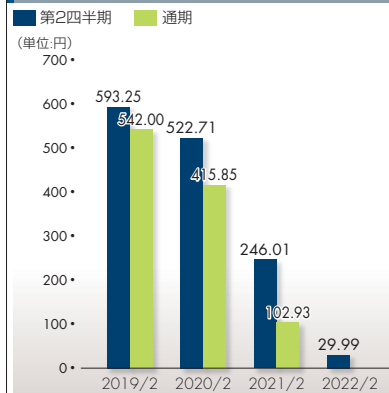
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益

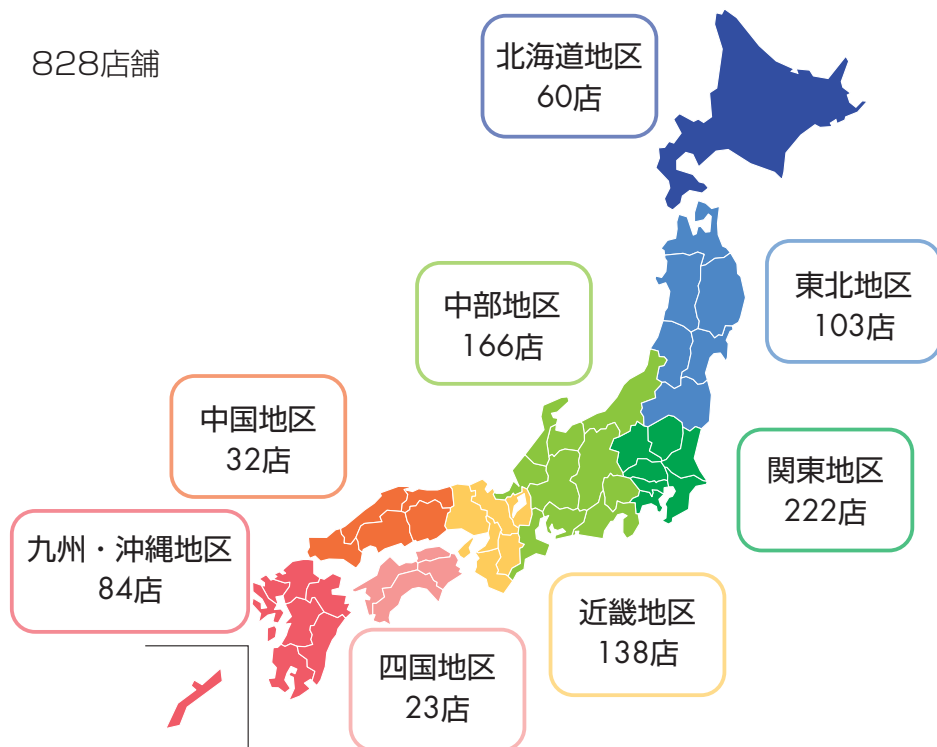


1株当たり純資産額(BPS)



■店舗一覧

国内 828店舗



■事業紹介



ASBEE

「お客さまと靴をつなぐ場所」をテーマに働き方や休日の過ごし方など、様々なシーンを楽しく、豊かに過ごせるお気に入りの一足が見つかるショップです。



Shoes Greenbox

「お客さまのかかりつけ」をテーマに、足元からのヘルス&ウエルネスに基づいた品揃えとサービスで足に関するお悩みを気軽に相談できる身近なショップです。



Trading Post

トレーディングポストは、レザーシューズを履く文化を日本に定着させ、時代とともに進化する革製品の今を積極的にご紹介する提案型セレクトショップです。

■ プライベートブランド商品・店舗サービスのご紹介

「ATHREAM」アスリーム



“価格×品質×デザイン”のバランスを追求。ランニングに最適な機能(はっ水、軽量、幅広、クッションインソール)を搭載しながら、タウンユースにも使える豊富なカラーをラインナップ。

「heal me」ヒールミー



ちょうど良いが心地良い。歩きやすさ、履き心地にこだわりながら、デザインにも手を抜かない。女性を足元からサポートするシューズコレクション。

「IMBOX」インボックス



はっ水加工システム「IMBOX」を日本初導入。特殊コーティングで水や汚れ、紫外線によるダメージから、お客様の大切な靴を守ります。

■ CSR活動のご紹介

省エネへの取り組み



店舗LED照明導入により、経済産業省の省エネ法に基づく評価制度において、2015年度より継続して省エネ優良事業者Sクラスを取得しています。

梱包資材削減への取り組み



2014年より、商品の店舗納品時などに折りたたみコンテナを導入。梱包資材の使用削減・廃棄削減に取り組んでいます。

多様な人材の育成と活用



従業員が有する多様なスキルや潜在能力を引き出し、新しい企業価値を創造すべく従業員一人ひとりの能力を開発・発揮しやすい環境づくりに努めています。

■ 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	第51期 2021年8月31日現在
資産の部	
流動資産	34,615
固定資産	7,431
有形固定資産	1,837
無形固定資産	569
投資その他の資産	5,024
資産合計	42,046
負債の部	
流動負債	38,186
固定負債	2,569
負債合計	40,756
純資産の部	
株主資本	1,414
資本金	3,756
資本剰余金	3,587
利益剰余金	△ 5,925
自己株式	△ 4
その他の包括利益累計額	△ 138
新株予約権	14
純資産合計	1,290
負債純資産合計	42,046

■ 四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第51期 2021年3月1日から 2021年8月31日まで
売上高	34,650
売上原価	20,022
売上総利益	14,627
販売費及び一般管理費	17,534
営業損失	△ 2,906
営業外収益	23
営業外費用	69
経常損失	△ 2,952
特別利益	46
特別損失	113
税金等調整前四半期純損失	△ 3,019
法人税等	108
四半期純損失	△ 3,127
親会社株主に帰属する四半期純損失	△ 3,127

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第51期 2021年3月1日から 2021年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	296
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 392
現金及び現金同等物の期首残高	1,372
現金及び現金同等物の四半期末残高	980

■ 会社概要

商号	株式会社ジーフット (英訳名 GFOOT CO.,LTD.)
設立	1971年10月
資本金	37億56百万円
従業員数	1,237名 (他、フレックス社員3,496名)
本社	東京都中央区新川一丁目23番5号
事業内容	紳士靴、婦人靴、スポーツ靴及びインポート雑貨の販売
店舗数	828店舗

■ 役員

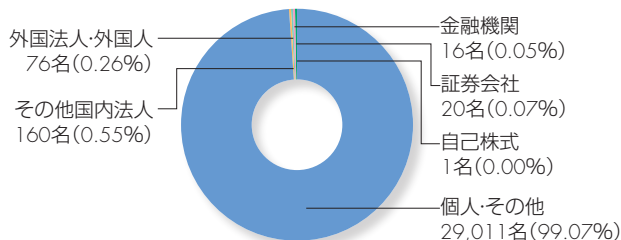
代表取締役社長	木	下	尚	久
常務取締役	村	上	竹	司
取締役	酒	井	慶	美
取締役	青	山	和	弘
取締役	小	松	史	明
取締役	藤	原	信	幸
取締役	湊		博	昭
取締役 (社外)	柴	田	昭	久
取締役 (社外)	荒	川	正	子
常勤監査役 (社外)	布	施	弘	二
監査役 (社外)	越	山	滋	雄
監査役 (社外)	下	山		宏
監査役	井	上	紀	一

■ 株式の状況

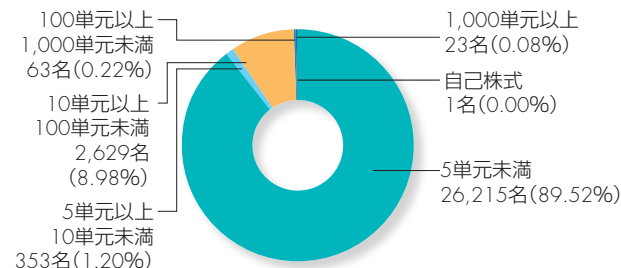
- (1) 発行可能株式総数 144,000,000 株
- (2) 発行済株式の総数 42,557,500 株
- (3) 単元株式数 100 株
- (4) 株主数 29,284 名
- (5) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イオン株式会社	26,350	61.92
有限会社高田	900	2.11
イオンフィナンシャルサービス株式会社	670	1.57

● 所有者別株主数



● 所有単元別株主数





■株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	
定時株主総会	毎年5月	
基準日	定時株主総会の議決権 期末配当金 中間配当金	2月末日 2月末日 8月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
各種お問合せ先 郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 フリーダイヤル 0120-782-031 (代表)	
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。 (アドレス) http://www.g-foot.co.jp/koukoku.html	
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部及び 名古屋証券取引所市場第一部	
単元株式数	100株	

株主優待制度のお知らせ

毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に登録された100株以上所有の株主さまに対し株主優待券を贈呈。

所有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	株主優待券1,000円 (1,000円券1枚)
1,000株以上 2,000株未満	株主優待券5,000円 (1,000円券5枚)
2,000株以上	株主優待券10,000円 (1,000円券10枚)



ホームページも
ご覧下さい。



<http://www.g-foot.co.jp/>



本社 東京都中央区新川一丁目23番5号

